

平成27年度

スクールソーシャルワーカー活用事業 — 実践事例集 —



(第1回スクールソーシャルワーカー地域別研修会の様子)

平成28年3月
北海道教育委員会

発刊に当たって

近年、いじめや不登校、暴力行為などに加え、児童虐待や貧困など、複雑化・多様化した学校だけでは解決が困難な問題も多く発生しており、こうした問題を解決し、児童生徒を健やかに育てていくためには、学校の総合力や教育力を十分に発揮できるような体制を構築していくことが大切です。

こうしたことから、福祉の専門家として問題を抱える児童生徒の置かれた環境への働きかけや関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整等の役割を果たしているスクールソーシャルワーカーは一層重要となっています。

北海道教育委員会では、平成20年度から「スクールソーシャルワーカー活用事業」を実施し、社会福祉士や精神保健福祉士などの資格を有する者のほか、教育と福祉の両面に関して専門的な知識・技術や経験を有する者をスクールソーシャルワーカーとして道内の市町村に配置するとともに、道教委にも配置してきたところです。

事業開始から8年が経過し、スクールソーシャルワーカーを活用している教育委員会においては、関係機関等との連携を図り、不登校児童生徒の学校復帰や児童虐待、ネグレクトなどの家庭環境の問題等への対応に向けて組織的な対応が図られてきております。

本冊子は、今年度、本事業において取り組まれた実践の中から、効果的な取組事例等をまとめたものであり、各市町村教育委員会において、児童生徒を取り巻く様々な問題の解決に向けた取組の一助にしていきたいと考えております。

今後、全道の多くの市町村において、スクールソーシャルワーカーを活用しながら、学校と関係機関等をつなぐ仕組みづくりが一層進められるよう御期待申し上げます。

平成28年3月

北海道教育庁学校教育局参事（生徒指導・学校安全）

竹 林 亨

目次

第 1 章 解説

- スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- スーパービジョン体制の確立・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- スクールソーシャルワーカー活用事業の成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- SSWを活用した効果的な実践に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

第 2 章 実践事例

<主に児童虐待が関係するケース>

- 児童養護施設と通級指導教室が連携し自己肯定感を高めたケース・・・・・・・・ 5
- 不登校及びネグレクトに対し、学校間や関係機関との連携を図り家庭を支援したケース・・・・・・・・ 7

<主に学校不信が関係するケース>

- 学級担任の指導に母親が不信感をもったため、SSWと担任が連携して取り組んだケース・・・・・・・・ 9

<主に発達障がいが関係するケース>

- 地域資源を活用し、子どもの多様な側面に目を向け支援を行ったケース・・・・・・・・ 11
- 校内での問題行動や家庭内で粗暴な行為がある生徒に関係機関が連携して支援したケース・・・・・・・・ 13
- 関係機関と連携して、問題行動を起こす生徒の保護者に働きかけ、改善が見られたケース・・・・・・・・ 15
- 発達障がいの傾向が見られる不登校生徒に適応指導教室と連携して支援したケース・・・・・・・・ 17

<主に養育の在り方が関係するケース>

- 言うことを聞かない子どもの子育てに悩む母親に対応したケース・・・・・・・・ 19
- 不登校の背景に親の精神疾患がある生徒にSSWとSCが連携して支援したケース・・・・・・・・ 21
- 関係機関との連携を拒み、登校させようとしぬ保護者へ働きかけたケース・・・・・・・・ 23
- 行方不明の母親に代わり、叔母が養育している生徒に対応したケース・・・・・・・・ 25
- 母親や当該児童の困り感に寄り添い、支援活動に取り組んでいるケース・・・・・・・・ 27
- 福祉担当課や自立支援センターなどと連携し、児童と家庭内暴力でうつになった母親へ援助したケース・・ 29
- 母親、父親に働きかけ、関係機関と連携して児童の欠席を解消したケース・・・・・・・・ 31
- 家庭環境に課題がある怠学傾向の兄妹にSSWを中心にネットワークを構築し対応したケース・・・・・・・・ 33
- 保護者の養育能力に課題がある家庭環境の中で不登校傾向を示した生徒に支援したケース・・・・・・・・ 35
- 生活困窮家庭の不登校に社会資源を活用して支援したケース・・・・・・・・ 37
- 母親の精神的な不安定により不登校になった姉弟に、学校間や関係機関で連携して支援を行ったケース・・ 39
- 母親が精神的に不安定なため、家庭への介入が困難な不登校生徒に連携して支援を行ったケース・・・・ 41
- 身近に支援者がいないひとり親家庭で不登校になっている生徒に関係機関が連携して支援したケース・・・・ 43

<主に不登校が関係するケース>

- 長期にわたって不登校が続いている児童に対し、学校と適応指導教室等が連携して支援しているケース・・ 45
- 関係機関が情報交流を密にして子どもたちの登校を支援しているケース・・・・・・・・ 47
- 町教委SSWと学校との連携による不登校生徒への対応のケース・・・・・・・・ 49
- 学校不信から不登校になった生徒に関係機関と連携を図って対応したケース・・・・・・・・ 51
- 学校との連携により不登校傾向を示した児童と母親を支援したケース・・・・・・・・ 53
- SSWが小学校と中学校をつなぎ不登校傾向の生徒の家庭環境に働きかけたケース・・・・・・・・ 55
- 学校と関係機関が連携し、環境を整えて登校を促したケース・・・・・・・・ 57
- 関係機関との連携により、環境を整えたことで不登校を解消したケース・・・・・・・・ 59
- SSWが当該生徒及び家庭と信頼関係を築くことにより不登校の改善を図ったケース・・・・・・・・ 61